



駒形やす子



福田まさひこ



市原市議会  
ホームページ

## 統廃合で地域から学校がなくなる！

市内小中学校の統廃合が進められています。これまで市南部の南総加茂地区に続き、三和地区で取組みが開始されています。教育委員会は子どもの人口減少が進むなか、教育環境の向上を理由としています。

しかしその理由だけなのでしょうか。市北部の辰巳台では、資産経営部が主導する小中学校一貫校化と周辺施設との機能集約が進められています。

### 地域への影響は？

統廃合が行われた南総加茂地区において地域への影響について質問しました。

当局からは、「地域とは対話を重ね理解を得て進めてきた。人口減少に関しては、地域活性化の観点で廃校施設の活用を図る」との答弁でした。

同地域の実態調査を行い、影響について十分に分析し、三和地区の取組みに反映させることを要望しました。

### 「子どもの最善の利益」となるか？

三和地区では5つの小学校と2つの中学校を約10年後に小中一貫校に統合する広域にわたる「方策案」が示されました。

従来の通学距離基準から「スクールバスなどを使って1時間以内」という通学時間条件への緩和は、「子どもの最善の利益」となるかと、質問しましたが、当局からは明確な答弁はありませんでした。

「小学校の徒歩通学は子どもの人格形成に意義がある」との裁判の判例を示し、徒歩通学は大人の責任と訴えました。

市原市は公共施設の更新にあたり施設面積の25%削減を目標として、同時に学校面積4割削減を参考として明示しています。このことが小中学校統廃合の背景にあると考えられます。

施設更新の費用を惜しんで学校統廃合を進めれば、明治以降また戦後復興の発展を支えた小学校教育とそれを基本とした地域生活圏を壊すことになり、地域振興に逆行するのではないのでしょうか。

市の予算の使い道を決めるのは市民です。皆様のご意見をお待ちしています。

質問と答弁



#### 10年後三和地区には一つの小中一貫校

